

平成30年度 歴文税タイムズ

～歴史と文化の環境税の使いみち～

(平成30年度実施事業)



「ゆめ」です



「未来」です

太宰府市 市民生活部 税務課

令和元年10月

ここに報告する事業は、それぞれの事業担当課が「歴史と文化の環境税」を使って実施しました。

実施事業については、学識経験者・駐車場事業者・関係団体・市民によって組織された「歴史と文化の環境税運営協議会」において審査を受け、「歴史と文化の環境税」の主旨に沿うものについて財源を充当しています。

平成30年度の充当額合計は、94,854千円でした。

なお、各事業の詳細についてのお問い合わせは、表示の担当課へお願いします。

(事業写真については、過去に実施した時のものを使用していることもあります。)

太宰府ブランド創造協議会事業

《決算額》【全体事業費 3,500千円】
（うち充当額 3,500千円）

観光推進課

九州国立博物館の開館を契機として、太宰府観光協会、太宰府市商工会、太宰府天満宮及び太宰府市の4団体で構成した「太宰府ブランド創造協議会」を平成17年4月に立ち上げ、観光や産業の振興の観点から、新たな太宰府ならではのブランドの創造に向けた調査・研究及び事業を展開することで、歴史的文化遺産の活用を図ります。（平成18年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①古都の光部会：太宰府ならではの歴史的文化遺産等の“光”を引き出す取組として実施しました。地域を照らす市民参加型の“光”のイベントとして、市民の方々に定着しています。来訪者28,000人、参加者1,310人
- ②情報もてなし部会：インバウンドセミナーを11月と12月の2回開催しました。参加者のべ171人



古都の光（観世音寺）



古都の光（水城跡）



インバウンドセミナー

史跡地ライトアップ事業

《決算額》【全体事業費 2,033千円】
（うち充当額 2,033千円）

観光推進課

年末年始や季節に応じた時期に、観世音寺、戒壇院などの歴史的文化遺産をライトアップすることで、その魅力を市内外にアピールし活用を図ります。（平成16年度から実施）

【平成30年度事業概要】

11/22～11/24 坂本八幡宮

12/30～1/1 観世音寺、戒壇院

3/29～4/7 御笠川沿い

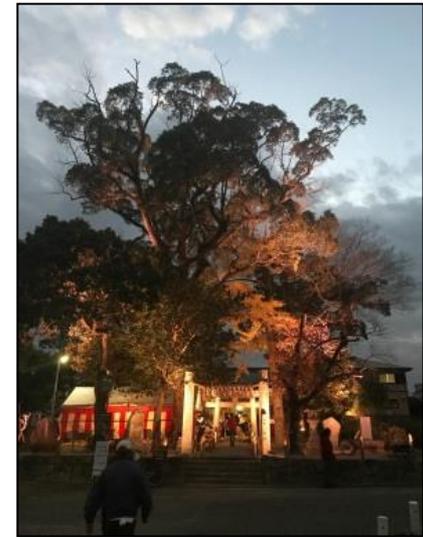
※公共性の高いイベントにLEDの貸し出しも行っています。



戒壇院



御笠川沿いの桜



坂本八幡宮

史跡地保存活用整備事業

《決算額》【全体事業費 1,042千円】
（うち充当額 1,042千円）

文化財課

特別史跡水城跡、特別史跡大宰府跡は、遺跡の価値だけではなく、福岡都市圏の中で大野城跡とともに貴重な緑地を形成しています。特別史跡を保存活用するための整備をすることにより、多くの市民や来訪者に特別史跡に触れていただき、史跡散策はもとより、豊かな緑の中でさまざまな活動を行うことで、憩い、癒し、リフレッシュのできる場を提供するものであり、あわせて文化財保護の意識を醸成するものです。（平成19年度から実施）

【平成30年度事業概要】

水城跡西門エリアの園路整備工事のための実施設計と併せて実施設計の基礎データのために埋蔵文化財の確認調査を行いました。

水城跡西門西側園路周辺整備工事として園路予定周辺地で樹木整理工事を行いました。



水城跡

史跡地保存管理事業

文化財課①
観光推進課②

《決算額》【全体事業費 36,453千円】
（うち充当額 9,113千円）

太宰府市の約16%を占める史跡地の維持管理を行い、市民及び来訪者に親しまれる空間をつくります。

（平成20年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①史跡地内の草刈・清掃管理(30ha)
- ②史跡地トイレ9箇所(観世音寺、大宰府展示館、蔵司、月山、政庁北、水城跡2箇所、国分寺跡、竈門神社)の管理維持管理費(清掃料、電気代、水道代、下水道代、汲取料)

毎年、約5万㎡の史跡地を公有化しています。そのため、管理を要する面積は年々増加しており、今後も増加していくと考えます。



史跡地の草刈

太宰府子どもじまん認定事業

《決算額》【全体事業費 561千円】
（うち充当額 561千円）

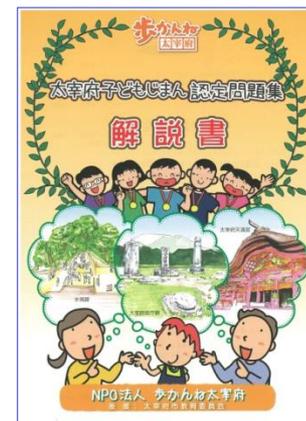
学校教育課

文化や歴史遺産に囲まれ、日々生活をしている子ども達が認定に取り組み自主的に郷土を認識し知識を広め、楽しく自然や遺跡に触れることにより、太宰府の将来を担う子ども達に自分の郷土に誇りや興味を持たせることを目的として実施します。（平成24年度から実施）

【平成30年度事業概要】

NPO法人「歩かね太宰府」が作成した「太宰府子どもじまん認定問題集」とその「解説書」を購入し、市内小学校6年生全員を対象に活用してもらいました。

3校で認定試験までを終了しました。



まるごと太宰府歴史展事業

《決算額》【全体事業費 1,800千円】
（うち充当額 1,800千円）

文化財課

先史時代から近現代に至るまでの全時代を通じて紹介する展覧会を開催することにより、広く市民、観光客に対し太宰府の歴史を検証・再発見していただきます。また本市の地域性・風土が形成されてきたことを歴史の散歩道の中核を担う「太宰府市文化ふれあい館」で開催することにより、回遊性を高め、「まちぐるみ歴史公園」として市内各地へも訪れていただくことを目的として実施します。

（平成25年度から実施）

【平成30年度事業概要】

8月4日から11月3日まで、太宰府市文化ふれあい館にて「まるごと太宰府歴史展2018」を開催しました。平成30年度は、大宰府史跡で発掘調査が開始され50年、明治維新150年にあたり、それらにちなんだ展示が好評を得ました。



まるごと太宰府歴史展（展示風景）



歴史的風致維持向上計画関連事業

都市計画課①②

産業振興課③

《決算額》【全体事業費 35,471千円】
（うち充当額 5,325千円）

太宰府における固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している良好な歴史的環境を維持向上するため、「歴史的風致維持向上計画」に基づき、ハード及びソフト事業を総合的に展開します。

（平成22年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①どんかん道・日田街道・参詣道・歴史の散歩道サイン整備事業
・老朽化した誘導サインの改修(2か所)を行いました。
- ②歴史的風致形成建造物保存修理事業
・新町に建つ明治初期の古民家1軒、及び観世音寺地区にある日吉神社の本殿・拝殿について修理を行いました。
- ③四王寺山周辺環境整備事業
・事業計画面積の5.2haのうち、0.83haの樹木調査、施業計画の策定、全体の測量及び間伐等の設計を行い、樹木伐採、剪定、除伐、倒木撤去等を実施しました。



修理前



修理後

歴史的風致形成建造物保存修理
（日吉神社）

臨時駐車場設置事業

《決算額》【全体事業費 2,101千円】
（うち充当額 1,959千円）

観光推進課

交通渋滞を緩和する観点から、観光客等の駐車需要の大きい時期や場所に臨時駐車場を設置します。（平成16年度から実施）

【平成30年度事業概要】

元日からの4日間、市内5か所（市役所、太宰府小学校、水城小学校、学業院中学校、総合体育館）に臨時駐車場を設置し、3,351台の利用がありました。

太宰府天満宮駐車センター、交通誘導等との連携を図った臨時駐車場の運営を行いました。



太宰府小学校臨時駐車場



とびうめアリーナ臨時駐車場



太宰府市役所臨時駐車場

仮設トイレ設置事業

観光推進課

《決算額》【全体事業費 1,112千円】
【うち充当額 1,112千円】

年末年始の観光需要が大きく交通渋滞が集中して発生する時期に、市内の幹線道路周辺に仮設トイレを設置します。（平成15年度から実施）

【平成30年度事業概要】

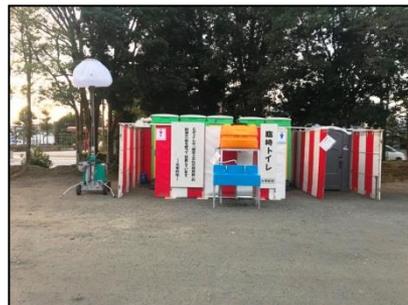
正月三が日に市内6か所（学業院中学校横、大宰府政庁跡、内山、太宰府天満宮第2駐車場、松川ダム、上宝満橋）に臨時トイレを設置しました。（天満宮第2駐車場は1月14日まで）
利用者は、約12,800人でした。



太宰府天満宮第2駐車場



松川ダム横



大宰府政庁跡



上宝満橋横（筑紫野市）

門前町美化推進事業

《決算額》【全体事業費 640千円】
【うち充当額 640千円】

観光推進課

多くの観光客が訪れる太宰府天満宮門前町周辺について、観光客へのおもてなしの一環として、市民をはじめボランティア団体との連携を図りつつ、観光客の増加とともに年々増え続けるごみの清掃や排出抑制の啓発を図ることで来訪者をおもてなしの心でお迎えします。（平成16年度から実施）

【平成30年度事業概要】

1月1日から1月3日の早朝から夜間まで、2班体制（のべ68人）で、太宰府駅前広場、太宰府天満宮参道及び周辺道路の美化作業を実施しました。

ごみ袋202袋分のごみを収集しました。



幹線道路周辺美化推進事業

《決算額》【全体事業費 2,278千円】
（うち充当額 2,278千円）

環境課

市民をはじめ、観光客などの来訪者が利用
する幹線道路周辺について、美化推進事業の
きめ細やかな展開を図るため、環境美化ボラン
ティア団体を育成しながら、散乱ごみ清掃など
の環境美化を推進します。

（平成16年度から実施）

【平成30年度事業概要】

幹線道路周辺美化作業を実施しました。

4月～3月（7路線のべ73コース）
のべ作業日数73日、距離約161km



幹線道路美化作業

街路樹整備事業

《決算額》【全体事業費 5,994千円】
（うち充当額 5,994千円）

建設課

来訪者が気持ちよく市内を回遊できるように街路樹の整備を行います。
また、御笠川沿いの桜並木を整備し、新たな回遊ルートの確立を目指します。
（平成21年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①御笠川沿い街路樹整備（桜並木）
剪定、草取り、消毒、施肥を実施しました。
- ②国道3号線側道樹木管理
剪定、植樹帯草取り、消毒、散水を実施しました。



観光案内サイン整備事業

《決算額》【全体事業費 3,948千円】
（うち充当額 3,948千円）

観光推進課

観光客をはじめとした来訪者が市内をわかりやすく回遊できるための施設整備を計画的・継続的に進めます。（平成24年度から実施）

【平成30年度事業概要】

①日本遺産案内サイン設置(10基)

大宰府跡2基、大野城跡1基、水城跡3基、
観世音寺2基、戒壇院1基、国分瓦窯跡1基

②老朽不要サイン撤去(四王寺林道3基)



大宰府跡



国分瓦窯跡



官道（水城跡）



観世音寺梵鐘

観光情報整備事業

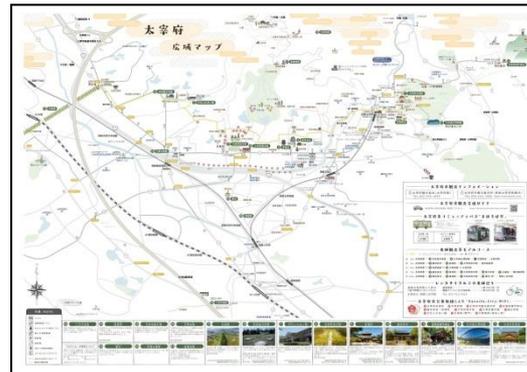
《決算額》【全体事業費 2,620千円】
 (うち充当額 2,620千円)

観光推進課

歴史、文化、四季折々の風景、伝統行事やイベントなど、太宰府ならではの魅力を発信し多くの観光客等の誘致に向け、効果的な情報提供及び観光宣伝に資するための写真等の観光素材の更新を図るとともに、この素材を活用した観光用ポスターや観光パンフレット等を製作します。(平成25年度から実施)

【平成30年度事業概要】

- ①着地型観光パンフレット制作
 日本語版 100,000部
- ②観光PRパンフレット増刷
 日本語版 30,000部
 韓国語版 40,000部
 台湾語版 20,000部
 英語版 10,000部
 中国語版(在庫対応)



着地型観光パンフレット



観光PRパンフレット

門前町フラッグ等掲出事業

《決算額》【全体事業費 1,382千円】
（うち充当額 1,382千円）

観光推進課

来訪者をおもてなしの心でお迎えするために、太宰府天満宮の参道にPRフラッグを掲げ、賑わいの創出を図ります。

（平成26年度から実施）

【平成30年度事業概要】

太宰府天満宮参道19箇所（表裏）に九州国立博物館の特別展及び特集展PRフラッグを8回掲出しました。



観光客滞留時間等調査事業

《決算額》【全体事業費 1,418千円】
（うち充当額 1,418千円）

観光推進課

来訪者をおもてなしの心でお迎えする施策の検討のために、公共交通機関利用状況、入込者数、外国人割合等の調査を行い、国内外から訪れる観光客の動向を把握するために実施します。（平成29年度から実施）

【平成30年度事業概要】

①調査期間

8/10～12、11/9～11/11、1/11～13

②属性調査

西鉄電車降客 36,082人

ライナーバス降客 7,727人

（日本人観光客、外国人観光客、観光客ではない一般人をカウント）

③国籍調査

西鉄電車降客 4,336人

ライナーバス降客 2,839人

外国人を対象に国籍聞き取り調査



調査風景

観光客向けWi-Fi整備事業

《決算額》【全体事業費 4,340千円】
（うち充当額 4,340千円）

観光推進課

来訪者をおもてなしの心でお迎えするために、観光客等が観光情報等を手軽に入手することができるように、インターネット接続サービスを利用することができる無料Wi-Fi環境を整備します。（平成28年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①国分寺跡近辺にWi-Fi環境を新設しました。
 - ②太宰府天満宮の太鼓橋、お守り売り場にWi-Fi環境を増設し強化しました。
- ※30年度の総アクセス数は、144,213件となりました。



国分寺跡近辺：国分天満宮



自転車等の利便性向上

《決算額》【全体事業費 774千円】
（うち充当額 774千円）

観光推進課

レンタサイクルの借用及び返却場所が増えることにより、利便性が向上し、市内回遊の促進や滞在時間の延長につなげることを目的に実施します。（平成21年度から実施）

【平成30年度事業概要】

西日本鉄道株が実施するレンタサイクル事業の運営に協力し、レンタサイクルの乗り捨てに伴う駅間における自転車の運搬業務に要する費用及び電動アシスト自転車の管理運営費並びにレンタサイクル利用促進のためのPR等に補助を行いました。

※30年度は、1,068台の貸し出しを行いました。



レンタル自転車



案内サイン

駐車場待ち車両の抑制

《決算額》【全体事業費 4,401千円】
（うち充当額 4,401千円）

都市計画課

太宰府市に自動車で訪れる方々に、太宰府天満宮や九州国立博物館周辺の道路・駐車場等の交通情報を配信することにより、公共交通機関への交通手段の転換を呼びかけ、交通渋滞の緩和を図ることを目的としています。（平成21年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①市内の大規模駐車場事業者に、タブレット端末を提供し、各駐車場の空き情報等を入力してもらうことにより、インターネット(Web)上で満空情報が見られるようにしています。また、道路状況を市内各所に設置したライブカメラにより、リアルタイムで配信しています。特に、年末年始には、満空情報を配信する駐車場の箇所を増設しました。
- ②12月下旬に梅大路交差点にライブカメラを設置し、常に道路状況を確認できるようにしました。
- ③竈門神社周辺地域における渋滞対策として、秋と春に周辺駐車場の満空情報の配信や渋滞長の調査を行うとともに、仮設ライブカメラを設置しました。



Web上の画面



交通情報案内
システム
QRコード

交差点交通誘導警備

《決算額》【全体事業費 5,856千円】
（うち充当額 5,856千円）

観光推進課

正月三が日の初詣客対策はもとより、3月までの観梅時期等をはじめ、交通渋滞が予想される時期について、交差点内の円滑な交通誘導を図るため、五条、梅大路の交差点に交通誘導員を配置します。（平成20年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①大晦日、正月三が日に天満宮と協力し交通誘導員を配置しました。
 - ②1月～3月の土日祝日(28日間)に交通誘導員を配置しました。
 - ③九州国立博物館特別展や秋の行楽シーズン等の交通渋滞時期には即時配置しました。(47日間)
 - ④ 秋・春の宝満山への来訪者が増える時期に県道内山三条線に11月に4日間、3月に4日間配置しました。
- ※全体で、59日間(のべ87日間)実施しました。



五条橋付近



梅大路交差点

花いっぱい運動推進事業

《決算額》【全体事業費 1,521千円】
（うち充当額 1,521千円）

産業振興課①

文化財課②

まちぐるみ花いっぱい運動を推進するため、ボランティア団体への助成や史跡地の保存と活用の一環として観世音寺や水城跡にコスモスを植栽するなど、市民及び来訪者のやすらぎの場を創出します。（平成17年度から実施）

【平成30年度事業概要】

- ①菜の花（春）、コスモス（秋）の栽培（水城跡、観世音寺周辺）
- ②蕎麦（そば）の花の栽培（蔵司西側周辺）

※種をまいた面積は、3.7haでした。



コスモス（水城跡）



菜の花（水城跡）



そばの花（蔵司西側）

駐車場案内システムVIC[※]S機能構築

《決算額》【全体事業費 858千円】
【うち充当額 858千円】

都市計画課

太宰府天満宮周辺の駐車場満空情報をパソコン、携帯電話及びスマートフォンのほか、VIC[※]S受信機能搭載のカーナビゲーション(カーナビ)上でも確認できる機能を構築することで、交通渋滞の緩和に繋がります。(平成29年度から実施)

19ページの駐車場待ち車両の抑制事業と連動しています。

【平成30年度事業概要】

年末年始などの渋滞時期だけではなく、年間を通じてVIC[※]Sへの配信を行い、VIC[※]S受信機能搭載のカーナビ上で満空情報を確認できるようにしました。



カーナビ画面表示 (例)

※ 「VIC[※]S (Vehicle Information and Communication System)」(ビックス)とは、渋滞や交通規制などの道路交通情報を、FM多重放送やビーコン(電波・光)を使ってリアルタイムにカーナビに届けるシステムのことで。

地域交通網形成計画策定事業

《決算額》【全体事業費 9,175千円】
（うち充当額 9,175千円）

都市計画課

太宰府天満宮参拝の交通渋滞に加え、近年、国の施策を受け、海外からの観光客が増大しているとともに、市域をとりまく主要幹線道路の整備の進捗に伴い、交通量が増えています。

その交通量に対応するために平成29年度から3か年計画で、将来交通量の推計を行うとともに、交通実態調査を行い、交通移動手段の転換を図るために道路、交差点等の道路施設改良、交通結節点の充実、公共交通機関の検討を行い総合交通計画を改訂し、各種事業に取り組みます。（当初2か年計画としていましたが、1年間延長し、令和元年度までの事業としました。）

【平成30年度事業概要】

- 1 西鉄太宰府線沿線地域交通実態調査
- 2 総合交通計画の検討
総合交通計画協議会：4回
- 3 地域公共交通網形成計画の検討
地域公共交通活性化協議会：3回



総合交通計画協議会

事務費

《決算額》【全体事業費 1,905千円】
 (うち充当額 1,905千円)

税務課

歴史と文化の環境税をよりよい使いみちとするために審議する運営協議会などの必要な費用を計上するものです。

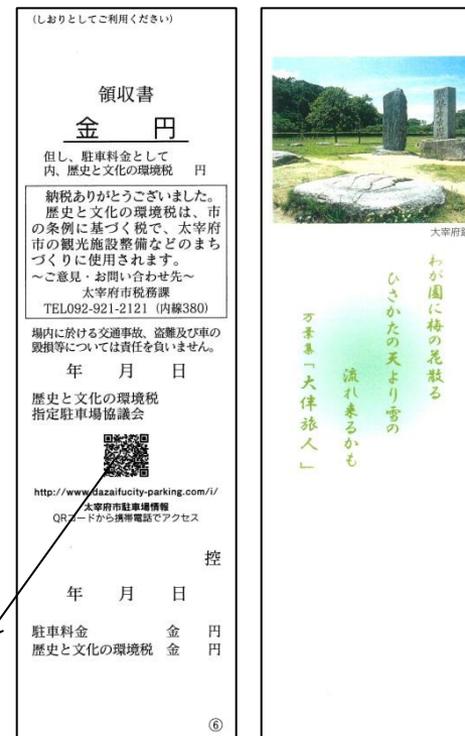
【平成30年度事業概要】

- ①歴史と文化の環境税運営協議会委員報酬・費用弁償
- ②駐車場事業者配付用領収書の印刷 340,000枚

※領収書は、希望する事業者に配付しています。



運営協議会



交通情報案内システムQRコードを表示しています。



領収書 (表・裏)

クルーズ船観光客対策事業

《決算額》【全体事業費 4,633千円】
（うち充当額 4,633千円）

観光振興課

クルーズ船による外国人観光客の増加が顕著であり、その大半が観光バスで来られ、天満宮駐車センターから参道を通って天満宮境内へと徒歩で移動している状況です。太宰府駅前交差点では歩車分離信号機への戸惑いもあり、車両の通行等に支障がでています。

また、生活様式の違いから間違ったトイレの使い方をされ、一般の観光客の利用に支障を来す状況となっていることなどから、実験的にそれらの対策を行うことにより、多くの観光客に太宰府を気持ちよく観光していただけるようにします。（平成29年度から実施）

【平成30年度事業概要】

概ね5,000人規模の大型クルーズ船の博多港寄港日に以下の事業を実施しました。

①トイレ利用社会実験(51日)

太宰府天満宮駐車センタートイレ及び太宰府天満宮案内所横トイレにおいて、所有者が行う通常清掃以外に、別途清掃員を配置しました。

②太宰府駅前交差点交通誘導(42日)

駅前交差点に誘導員を配置し、交通誘導を行いました。



周辺道路改良事業

《決算額》【全体事業費 44,088千円】
（うち充当額 16,668千円）

建設課

インバウンドによる大型バスやレンタカーの通行量の増加による道路の劣化が顕著であることから、道路を改良し、来訪される方が気持ちよく通行できるようにするために市道の整備をしました。

【平成30年度事業概要】

五条交差点から太宰府天満宮駐車センター方面へ400mの市道改良を実施しました。

道路が整備され、通行帯も明確になり、車両通行がスムーズになりました。

また、改良により振動が軽減されたことから、近隣の住宅への振動公害も改善されました。



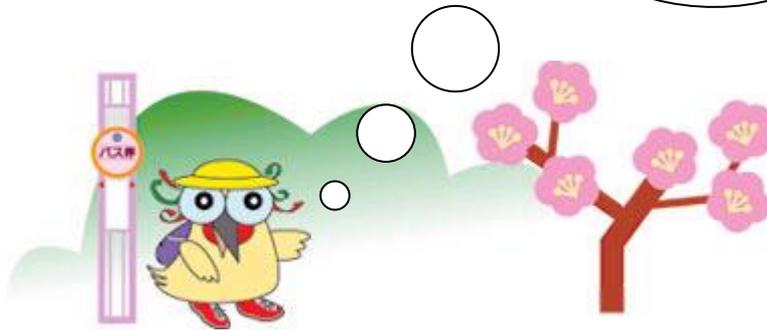
改良前



改良後

まほろば号は、ワンコイン（100円均一）運賃で市内の公共施設や観光名所・旧跡、駅を循環し、高齢者や体の不自由な人にも楽に乗り降りできるバスです。

太宰府においでの際は、是非ご利用ください。



ご利用については、市のホームページをご覧ください。



コミュニティバスまほろば号

【問い合わせ】

太宰府市 市民生活部 税務課 歴史と文化の環境税推進係

☎ 092-921-2121(内線380)